

和の有界性証明について $\sim \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2}$ の上限 \sim

吉田 信夫

大学への数学 12年2月号 掲載

$$\sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{k^2} = \frac{\pi^2}{6} (=1.64493\dots\dots)$$

となることはご存知だろうか？

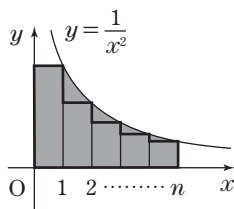
大学以上の数学では証明可能であるが、高校数学の範囲でこれを証明するのは非常に困難である。しかし、これを元にした入試問題は多く存在する。これに関連して、「和の有界性」を示す問題、つまり、「 $S_n < (\text{定数})$ を示せ」という問題の解法をまとめてみよう。

問題 1. $\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} < 2$ を示せ。

何も誘導がないパターンは、09 東大後期総合科目Ⅱの一部などがある。右辺が n によらない定数であるから、帰納法は不向きで、面積を用いるのが最も簡明である。

解 $n=1$ では明らかに成り立つので、 $n \geq 2$ とする。

$\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2}$ は、右図の大線で囲まれた部分の面積である。



$y = \frac{1}{x^2}$ ($x > 0$) は単調減少であるから、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} &= 1 + \sum_{k=2}^n \frac{1}{k^2} \\ &< 1 + \int_1^n \frac{dx}{x^2} = 1 + \left[-\frac{1}{x} \right]_1^n = 1 - \frac{1}{n} - (-1) \\ &= 2 - \frac{1}{n} < 2 \end{aligned}$$

と評価できる。これで示された。

* * *

少し誘導を付けると、数Ⅲを用いずに証明できる。

問題 2. $k^2 > k(k-1)$ ($k \geq 1$) を用いて、 $\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} < 2$ を示せ。

解 $n=1$ では明らかに成り立つので、 $n \geq 2$ とする。 $k \geq 2$ のとき、与えられた不等式の逆数をとると、

$$\frac{1}{k^2} < \frac{1}{k(k-1)} \quad (k \geq 2)$$

となる。これを用いると、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} &= 1 + \sum_{k=2}^n \frac{1}{k^2} \\ &< 1 + \sum_{k=2}^n \frac{1}{k(k-1)} = 1 + \sum_{k=2}^n \left(\frac{1}{k-1} - \frac{1}{k} \right) \\ &= 1 + \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{2} \right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \dots \\ &\quad \dots + \left(\frac{1}{n-1} - \frac{1}{n} \right) \\ &= 2 - \frac{1}{n} < 2 \end{aligned}$$

が成り立つ。これで示された。

* * *

問題 1 と同様、 $k=1$ だけを別にして足さなければならなかった。これを避けるよう誘導を変化させてみよう。

問題 3. $k^2 > k^2 - \frac{1}{4}$ ($k \geq 1$) を用いて、 $\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} < 2$ を示せ。

解 与えられた不等式の逆数をとると、

$$\frac{1}{k^2} < \frac{1}{k^2 - \frac{1}{4}} \quad (k \geq 1)$$

となる。これを用いると、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} &< \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2 - \frac{1}{4}} = \sum_{k=1}^n \frac{4}{(2k-1)(2k+1)} \\ &= \sum_{k=1}^n 2 \left(\frac{1}{2k-1} - \frac{1}{2k+1} \right) \\ &= 2 \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{3} \right) + 2 \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{5} \right) + \dots \\ &\quad \dots + 2 \left(\frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n+1} \right) \\ &= 2 - \frac{2}{2n+1} < 2 \end{aligned}$$

が成り立つ。これで示された。

* * *

さらに、少し変わった誘導もある(09 岩手大などに類題がある)。

集中講義～和の有界性～

$$\begin{aligned}
 T - T_{n-1} &= \frac{1}{n(n+1)} + \frac{1}{(n+1)(n+2)} \\
 &\quad + \frac{1}{(n+2)(n+3)} + \dots \\
 &= \sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{(n+k-1)(n+k)}
 \end{aligned}$$

となる。ここで、各項について、

$$\begin{aligned}
 \frac{1}{(n+k-1)(n+k)} &< \frac{1}{(n+k)^2} \\
 &= \frac{1}{(n+k)^2(n+k-1)} \\
 &> 0
 \end{aligned}$$

であるから、級数について、

$$\sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{(n+k)^2} \leq \sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{(n+k-1)(n+k)}$$

$$\therefore S - S_n \leq T - T_{n-1} = \frac{1}{n}$$

が成り立つ。

(4) $S_n > 1.3$ となるまで n に代入していくと、

$$S_1 = 1, S_2 = 1 + \frac{1}{4} = 1.25,$$

$$S_3 = 1 + \frac{1}{4} + \frac{1}{9} = \frac{49}{36} = 1.3611\dots\dots$$

$$\therefore S > S_3 > 1.3$$

である。さらに、(3) より、

$$S - S_3 \leq \frac{1}{3}$$

$$\therefore S < S_3 + \frac{1}{3} = \frac{61}{36} = 1.6944\dots\dots < 1.7$$

である。以上で示された。

* * *

評価の精度はかなり良くなったが、代入して部分和を計算していくのは少し面倒である。

次は、**問題 1**での“面積による評価”の精度を上げてみよう。

問題 6. 次の問いに答えよ。

(1) 自然数 k に対し、 $\int_{k-\frac{1}{2}}^{k+\frac{1}{2}} \frac{dx}{x^2} > \frac{1}{k^2}$ を示せ。

(2) (1) を利用して、 $\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} < \frac{5}{3}$ を示せ。

解 (1) 積分を計算することで、

$$\begin{aligned}
 \int_{k-\frac{1}{2}}^{k+\frac{1}{2}} \frac{dx}{x^2} &= \left[-\frac{1}{x} \right]_{k-\frac{1}{2}}^{k+\frac{1}{2}} = \frac{1}{k-\frac{1}{2}} - \frac{1}{k+\frac{1}{2}} = \frac{1}{k^2 - \frac{1}{4}} \\
 &> \frac{1}{k^2}
 \end{aligned}$$

となる。これで示された。

(2) $n=1$ では明らかに成り立つので、 $n \geq 2$ とする。

(1) を $k \geq 2$ に適用して、

$$\begin{aligned}
 \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} &= 1 + \sum_{k=2}^n \frac{1}{k^2} < 1 + \sum_{k=2}^n \int_{k-\frac{1}{2}}^{k+\frac{1}{2}} \frac{dx}{x^2} \\
 &= 1 + \int_{\frac{3}{2}}^{n+\frac{1}{2}} \frac{dx}{x^2} = 1 + \left[-\frac{1}{x} \right]_{\frac{3}{2}}^{n+\frac{1}{2}} = 1 - \frac{1}{n+\frac{1}{2}} + \frac{2}{3} \\
 &= \frac{5}{3} - \frac{1}{n+\frac{1}{2}} < \frac{5}{3}
 \end{aligned}$$

である。これで示された。

* * *

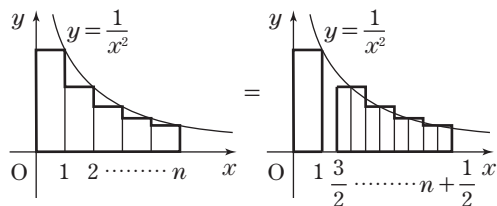
(1) は、**問題 3** で用いた不等式 $k^2 > k^2 - \frac{1}{4}$ ($k \geq 1$)

と同じ評価である。そのまま (2) を考えると、**問題 3**

と同様、 $\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} < 2$ しか示すことはできなかったはずで

ある。そこで、**問題 1**と同様に、 $k=1$ の長方形だけそのままにして足していったのである。

では、**問題 6** (1) の意味は何であろうか。図形化してみると、以下の通りである：



$$\frac{1}{k^2} = \frac{1}{k^2} < \int_{k-\frac{1}{2}}^{k+\frac{1}{2}} \frac{dx}{x^2}$$

図の上半分のように、長方形達を右に $\frac{1}{2}$ だけずらす (最も左のものは除く)。そして、図の下半分のように、長方形を台形に等積変形する (接線を利用) と、 $y = \frac{1}{x^2}$ の凸性から、(1) の不等式が成り立つことが分かる。

* * *

$\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} < \frac{5}{3} = 1.666\dots\dots$ は、真の値 $1.64493\dots\dots$ にかなり近く、良い評価である。しかし、入試問題の中には、もっとすごい問題がある。最後に、ギリギリの評価：

集中講義～和の有界性～

$\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} \leq \frac{\pi^2}{6}$ を示す問題を紹介します。(05 富山医薬大)

問題 7. $n=1, 2, \dots$ に対して,

$$a_n = \int_{-\pi}^{\pi} x \sin nx \, dx, \quad I_n = \int_{-\pi}^{\pi} \left(\pi x - \sum_{k=1}^n a_k \sin kx \right)^2 dx$$

と定義する.

(1) $n=1, 2, \dots$ に対して,

$$a_n = (-1)^{n+1} \frac{2\pi}{n} \text{ であることを示せ.}$$

(2) $k, l=1, 2, \dots$ に対して,

$$\int_{-\pi}^{\pi} \sin kx \sin lx \, dx \text{ を求めよ.}$$

(3) I_1 を求めよ.

(4) $n=2, 3, \dots$ に対して, $I_n - I_{n-1}$ を n を用いて表せ.

(5) $n=1, 2, \dots$ に対して, $\sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} \leq \frac{\pi^2}{6}$ が成立することを示せ.

解 (1) 偶関数であることを利用して,

$$a_n = 2 \int_0^{\pi} x \sin nx \, dx$$

である. さらに, 部分積分により,

$$\begin{aligned} a_n &= 2 \int_0^{\pi} x \left(\frac{-\cos nx}{n} \right) dx \\ &= 2 \left\{ \left[\frac{-x}{n} \cos nx \right]_0^{\pi} - \int_0^{\pi} \frac{-\cos nx}{n} dx \right\} \\ &= 2 \left\{ -\frac{\pi}{n} \cos n\pi + \left[\frac{1}{n^2} \sin nx \right]_0^{\pi} \right\} \\ &= -\frac{2\pi}{n} \cos n\pi \\ &= (-1)^{n+1} \frac{2\pi}{n} \end{aligned}$$

である. これで示された.

(2) 「積→和」公式から

$$\sin kx \sin lx = \frac{\cos(k-l)x - \cos(k+l)x}{2}$$

となる. $k \neq l$ のとき,

$$\begin{aligned} &\int_{-\pi}^{\pi} \sin kx \sin lx \, dx \\ &= \int_{-\pi}^{\pi} \frac{\cos(k-l)x - \cos(k+l)x}{2} dx \\ &= \frac{1}{2} \left[\frac{\sin(k-l)x}{k-l} - \frac{\sin(k+l)x}{k+l} \right]_{-\pi}^{\pi} \\ &= 0 \end{aligned}$$

である. $k=l$ のとき,

$$\int_{-\pi}^{\pi} \sin kx \sin kx \, dx = \int_{-\pi}^{\pi} \sin^2 kx \, dx$$

$$\begin{aligned} &= \int_{-\pi}^{\pi} \frac{1 - \cos 2kx}{2} dx = \frac{1}{2} \left[x - \frac{\sin 2kx}{2k} \right]_{-\pi}^{\pi} \\ &= \pi \end{aligned}$$

である.

(3) (1) で $n=1$ として, $a_1=2\pi$ である. (1) と (2) を用いて計算すると,

$$\begin{aligned} I_1 &= \int_{-\pi}^{\pi} (\pi x - 2\pi \sin x)^2 dx \\ &= \pi^2 \left(\int_{-\pi}^{\pi} x^2 dx - 4 \int_{-\pi}^{\pi} x \sin x dx + 4 \int_{-\pi}^{\pi} 4 \sin^2 x dx \right) \\ &= \pi^2 \left(\left[\frac{1}{3} x^3 \right]_{-\pi}^{\pi} - 4a_1 + 4\pi \right) = \pi^2 \left(\frac{2\pi^3}{3} - 8\pi + 4\pi \right) \\ &= \frac{2\pi^5}{3} - 4\pi^3 \end{aligned}$$

である.

(4) まず, $I_n - I_{n-1}$ の被積分関数を, “和と差の積” で因数分解してから, 展開すると,

$$\begin{aligned} &\left(\pi x - \sum_{k=1}^n a_k \sin kx \right)^2 - \left(\pi x - \sum_{k=1}^{n-1} a_k \sin kx \right)^2 \\ &= \left\{ \left(\pi x - \sum_{k=1}^n a_k \sin kx \right) + \left(\pi x - \sum_{k=1}^{n-1} a_k \sin kx \right) \right\} \\ &\quad \times \left\{ \left(\pi x - \sum_{k=1}^n a_k \sin kx \right) - \left(\pi x - \sum_{k=1}^{n-1} a_k \sin kx \right) \right\} \\ &= \left(2\pi x - 2 \sum_{k=1}^{n-1} a_k \sin kx - a_n \sin nx \right) (-a_n \sin nx) \\ &= -2\pi a_n x \sin nx - 2a_n \sum_{k=1}^{n-1} a_k \sin kx \sin nx \\ &\quad + a_n^2 \sin^2 nx \end{aligned}$$

となる. ゆえに, (1) と (2) を用いて計算すると,

$$\begin{aligned} &I_n - I_{n-1} \\ &= -2\pi a_n \int_{-\pi}^{\pi} x \sin nx \, dx \\ &\quad - 2a_n \sum_{k=1}^{n-1} a_k \int_{-\pi}^{\pi} \sin kx \sin nx \, dx + a_n^2 \int_{-\pi}^{\pi} \sin^2 nx \, dx \\ &= -2\pi a_n \cdot a_n - 2a_n \sum_{k=1}^{n-1} a_k \cdot 0 + a_n^2 \cdot \pi = -a_n^2 \pi \\ &= -\frac{4\pi^3}{n^2} \end{aligned}$$

である.

(5) (4) から $\{I_n\}$ の階差数列が得られたので, (3) で求めた初項と合わせて, I_n が分かる. $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} I_n &= I_1 + \sum_{k=2}^n \left(-\frac{4\pi^3}{k^2} \right) = \frac{2\pi^5}{3} - 4\pi^3 - 4\pi^3 \sum_{k=2}^n \frac{1}{k^2} \\ &= \frac{2\pi^5}{3} - 4\pi^3 \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} \end{aligned}$$

であり, これは $n=1$ でも成り立つ. $I_n \geq 0$ なので,

$$\frac{2}{3} \pi^5 - 4\pi^3 \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} \geq 0 \quad \therefore \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} \leq \frac{\pi^2}{6}$$

が成り立つ. これで示された.

(よしだ のぶお, 予備校講師)